

館報

春の
足音



2月号

No. 814

令和6年
(2024年)



働く姿

ねばねば いきます
150th
anniversary
山形村 開村150周年

笑顔のために

さとう がく
佐藤 岳さん

松本市内の不動産会社で働いている佐藤さん。不動産という人生の大きな買い物をサポートしてお客様に笑顔を届けています。また別の顔として、10年前から山形村スポーツ推進委員会に所属し、佐藤さんたちの活動が『モルック』を山形村に浸透させたキッカケになりました。「他にもさまざまな教室を開催していますので、皆さんにスポーツの楽しさを体験していただきたいです」とのこと。仕事だけではなく、委員会活動からも村内に笑顔を届けてくれています。

(1月31日 有限会社宅地開発 事務所にて)

遺跡発掘調査 速報展

ミニ糸車で紹介した上大池の洞遺跡と上竹田の殿村遺跡の出土品を展示する速報展が、2月6日(火)から25日(日)にかけてミラ・フード館で行われています。洞遺跡は市民タイムスの記事がYahoo!ニュースにも取り上げられるなど全国的にも話題となっていました。



殿村遺跡の調査では、美しい飾り文様が特長の縄文中期の土器が出土していて、不思議な魅力を湛えていました。



滑石は勾玉の材料にも利用された
硬度1の柔らかい鉱物です

洞遺跡の調査では、滑石の管玉(管状石製品)2点の発見が特大の成果で、一緒に出土した土器破片の特色から県内最古級、縄文時代早期末(約7千年前)のものと思われると見られています。管玉は現在で言うところのビーズの一形態で腕飾りや首飾りに用いられたと思われます。管玉のアクセサリは貴重なもので、祭祀(マツリ)など、特別な時に代表者が身につけたのではないかと考えられていて、縄文の洞集落に文化的な行事が存在したと推測できます。

今回の発見は、両遺跡とも発掘に携わった皆さんの、緻密で丁寧な仕事があつてこそではないでしょうか。発掘作業本当にお疲れ様でした。

※館報の配布時期によっては展示が終了している場合がありますが、ご了承ください。



殿村遺跡より出土

山の神祭

1月17日(水)、山林作業安全祈願祭(山の神祭)がトレーニングセンターで行われました。

林業委員代表で実行委員長宮澤和彦さん(上竹田)は「古くから伝わる神事を今年も行うことができました。山の近くに住んでいる方や仕事などで山に入る人たちの安全と、土砂崩れなどの災害が起ころぬよう祈願しました」と話していました。



4年ぶりの開催 令和5年度朝日村・山形村 農業委員会研修会

1月26日(金)、トレーニングセンターふるさと大ホールで朝日村・山形村農業委員会研修会が開催され、両村の農業委員、農地利用最適化推進委員40名が参加しました。

資材高騰など、困難な状況下にある営農、農業従事者の一助となるよう、農業者年金の制度の理解を深めることを目的に、一般社団法人長野県農業会議より農業者年金広域アドバイザー宮島明博さんを招いて講演があり、参加者が熱心に聴講されている様子がありました。



山すそ

能登半島地震が起きてもうすぐ2ヶ月。震源地の石川をはじめ、富山、新潟、福井県で復興活動が続いている▼大きな災害が起きるとすぐに募金の呼びかけが始まる。被災地のために「何かできることはないか?」と考えた時、お金の寄付が最も有力な選択肢だろう。これは本当に正しい行為である▼だが、募金呼びかけで集められたお金は、そのまま全てが被災地に届けられるわけではないことを理解しておくことは重要である。慈善団体経由の募金は経費が差し引かれてしまう▼お金を寄付する最良の方法は、インターネットが普及したこの時代だからこそ、被災地あるいは被災自治体の口座に直接寄付することを強く推奨したい。この方法がいちばんいい▼『直接寄付』のワードでネット検索しても、石川県以外はトップに出てこない。少し戸惑うが、対象県の『義援金』ページは必ずある。そのページから県が用意した口座か、特設口座がない場合は日本赤十字社の対象口座へ入金すれば、あなたの大切なお金は全額が被災地に届く。

図書館からのお知らせ

*** 3月は「年間貸出ベスト」展**
 2023年4月から2024年2月までの貸出ベストを展示します。
 分類ごとに0類から8類はベスト10、1番よく借りられる9類（文学）はベスト50までを棚に集めています。
 気になっていながら読み残した本はありませんか？チェックしてみてください。
期間：3月1日(金)から31日(日)まで
 ※1年間に図書館へ入った本のリストを差し上げています。

お問い合わせ・お申し込み
 山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.68

編集＝山形村図書館

思いがけない本との出会い 開運帯くじ

1月4日(木)から新企画『新春開運帯くじ』に取り組みました。今年度図書館に入った本の帯をくるくるまるめてくじにし、一般書80冊、児童書30冊をご用意しました。



思いがけない本を引き当てた方も大勢いらつしやいました。『これも何かの縁だから』と大半の方が借りていかれました。「笠置シズ子、ちやうど読みたいと思っていたからラッキー！」「自分では絶対選ばないタイプの本だったけど、おもしろかった！」

中には「スミマセン、1ページで挫折しました…」という人も。当たってもはずれても、帯くじ本との出会いは、新鮮でワクワクしました、と皆さんに喜んでいただきました。

新ワザにチャレンジ！ けん玉教室開催

1月27日(土)、トレーニングセンターふるさと大ホールでけん玉教室を開催し、幼児から大人まで23人が集まりました。この冬に小学校でけん玉をもらった1年生が張り切って参加してくれました。



講師の松本剣玉道場の常田大輔さんがクイズ形式でけん玉の歴史や雑学を披露。けん玉の技は3万以上もあるそうで、驚きです。

と励まされチャレンジしていました。寒い季節の室内遊びにもってこいのけん玉。家でも楽しんでください。



祝・101回の長寿企画 『ぶつつかふえ』

2014年5月にスタートした、おいしいケーキとお茶と本の会『ぶつつかふえ』が、2024年1月で101回を迎えました。コロナ禍で休会していた時期もありましたが、10年に渡り継続中の静かに人気の企画です。

毎月第4木曜日、午後2時から3時30分、トレーニングセンター語らいの部屋で開催しています。各自おすすめの本を1冊持ち寄り、村内のスローカフェマハロさんのケーキをお供に本を語ります。集まる人の好みはバラバラなので、紹介する本もさまざま。バラバラ加減が刺激的で、毎回本との出会いが楽しみです。

聞くだけ参加も歓迎しています。お仲間になりませんか？
 次回は3月28日(木)、お申し込みは前々日までに図書館へ。

BOOK 68 新着本

〈おすすめ新着本紹介〉
『子どもを事故から守る本』
 坂本昌彦 内外出版社
 「まさか！」思いもよらないことが事故につながるの子どもです。家庭内の事故を予防する方法を紹介します。



『スマホアプリはなぜ無料？』
 松本健太郎 河出書房新社
 無料で使っているのに提供する企業は儲かっている。なぜ？この疑問を通じて、世の中の仕組みを解説します。



『せかいの「ありがとう」』
 こがようこ 童心社
 いろんな国の「ありがとう」を紹介します。世界の国の生活や文化に親しみましょう。



『深海ロボット、南極へ行く』
 五島慎平 太郎 郎社エディタス
 南極で活躍するロボット開発を依頼された著者。難題をクリアしながら極地探査に挑みます。全700日の記録。



新着DVD
 『RRR』 「ドクター・ドリトル」 「ある男」 「丘の上の本屋さん」

やまのこ保育園行事

■もちつき会

1月16日(火)、小雪ちらつく中、冬の恒例行事、『もちつき会』が行われました。まずは蒸したてのもち米を味見つぐ前でも「おいしいー」と声が上がりました。その後、子ども用の杵と臼を使って、子どもたちがもちを元気についていきました。やわらかくできあがったもちは、きなことちと昼食のお雑煮で味わいました。



■節分行事

2月2日(金)、節分の豆まきが行われました。袴が飾られた園舎で節分のお話を聞いた後、年長の園児が鬼役になり、子どもたちが紙で作った柵しきに入れた豆をまきます。豆まきは、災いを払うだけ

山形小学校行事

■2年生 豆腐作り

1月19日(金)、2年生が豆腐作りを行いました。講師に農村マイスターの方と加工友の方を迎え、豆腐の作り方を丁寧に教えていただき、楽しみながら豆腐作りを実践しました。その後、できたての豆腐と、豆腐を作る過程でできるおからを使ったサラダを

ではなく、自分の心の中にあるわがままな気持ちなどを鬼と見立てて追い払う意味を込めて行われているそうです。無事に鬼を追い払った子どもたちも鬼役の年長たちもすがすがしい表情をしていました。



堪能しました。

参加した児童からは、「豆腐作りは手間がかかったけど、その分、味がおいしかった」などの感想を聞くことができました。



■3年生 社会科見学

1月23日(火)、山形消防署で、3年生の社会科見学が行われました。初めに消防車と救急車を見せてもらいました。職員の方から山形署には消防車が2種類あり1千5百リットルの水を積載し、水利のない場所でも消火活動のできるタンク車と防火水槽などから力強く水を汲み上げて放水できるポンプ車があることを説明してもらいました。

救急車の見学では、たくさんたくさんの機器や薬が常備されていて普段見ることのできない車内を見学させてもらった児童たちは、真剣にメモを取り質問をするなどして救急車の役



割を学習していました。その後、庁舎内の見学に移り、出動準備室や指令室で119番通報を受けてから出動までの流れを学びました。その説明の中で、実際に出動した事例や件数の話を聞いた児童たちは想像以上に出勤が多いことに驚いていました。この見学を通して消防署の役割や働いている職員の様子が学習できた貴重な時間となったのではないのでしょうか。



■3・4年生 スキー教室

1月16日(火)、朝日プライムスキー場で、3・4年生対象のスキー教室が開催されました。この日は、晴天に恵まれ絶好のスキー日和。特に3年生はスキーをするのが初めてという児童も多かったのですが、インストラクターの皆さんが丁寧に優しく教えてくれました。



3年生の上條雅治さん(中大池)は「リフトから降りるときに転んでしまつて、びっくりしました。僕が参加した中級コースは初級コースと同じゲレンデだったので、来年は上級コースを滑りたいです。いっぱい滑ったのでお昼のカレーライスが美味しくておかわりしました」と楽しそうに話していました。

◆ヒモの両端にゴムボールがつながった「ボール」を7.5m先のラダー（ハンゴ）に投げ、ボールがラダーに引っ掛かると得点になる競技

◆ダーマと呼ばれる円すい形で中空のボールをサークルへ向けて交互に投げ、自分のダーマで相手のダーマをいかに多く囲むかを競う

◆フライングディスクを投げ、番号ボードを射抜くゲーム

ラダーゲッター

ガラッキー

RD チャレンジ

新春やまがた 1月28日(日)開催!
 ニュースポーツイベント

モルック特別 ver.

カーリング

ポッチャ

◆中央のピンを狙って倒す、限定ルールのもルック

◆カーリングのフロア（床面）版

◆パラリンピックで有名な、老若男女が楽しめるポッチャ



総勢26チーム、130名が参戦!
 山形村公民館 主催・山形村スポーツ推進委員会 協力 会場：トレーニングセンター体育館・大ホール



初代1位を勝ち取った上大池分館のみなさん



BIGだるま落としチャレンジ



体験コーナー

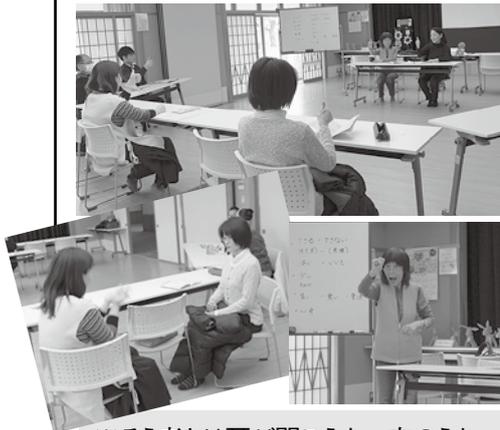


義援金贈呈式1月30日
 義援金14,379円を百瀬公民館長から山形村社会福祉協議会の山口会長へ

この日、百瀬公民館長から、能登半島地震の被災地への義援金呼び掛けもあり、集められたお金は社協から日本赤十字社を通じて、全額が被災地に送られました。被災地の早急な復旧を祈念いたします。

◆ 冬場の体力作りと娯楽をいっぺんに楽しめる、ニュースポーツイベントが初開催。各分館とオープン参加も可能で、3〜5名のチームを組んでリーグ戦を行いました。競技は、体力、腕力の差が出ない6種類の軽スポーツで構成され、老若男女が同条件でプレー可能な他、上位チームには豪華景品をご用意！今回は各種防災アイテムが進呈されました。スラックラインの体験コーナーやBIGだるま落としのミニイベントも同時開催されて、賑やかなイベントをさらに盛り上げていきました。

5年ぶりに復活！手話教室開催中



※ろう者とは耳が聞こえない方のうち、『手話』を使ってコミュニケーションをとり、日常生活を送る方のことをいいます。
(出典：長野県ホームページより)

保健福祉センターいっいの里で山形村手話教室が行われています。1月18日(木)を皮切りに2月29日(木)までの全8回にわたる教室で、講師に上脇美恵子さん(ろう者※)・上大池と鈴木弓子さん(下竹田)を迎えて、開催されています。
教室の冒頭では手話の説明があり、手話には地域性や育った環境で違いがあり、捉え方も人それぞれであることを前提に始めました。取材したこの日は、始めに会話で大切なあいさつと自己紹介を指文字で行いました。テキストを参考に講師の方から指や手の曲げ方、振り方などのアドバイスをもらいながら実践しました。そして指文字ができるようになったあとは、手話での会話に移り、例題としてお隣へ引越して来たことを想定してのあいさつや会話の練習をしました。最初は普段慣れていない手話に緊張した様子で行われた参加者も、いつの間にか和やかな雰囲気になり、楽しい手話教室になりました。参加者からは「手話を勉強することで、職場でのコミュニケーションが円滑にできたらいいです」や「手話で会話できるようになることが楽しみです」などの声がありました。これからも手話を通じて、ろう者との繋がり、支え合いがより強固になる社会になればいいなと思えました。

館報編集部 塩原部員も手話にチャレンジ！～日常のあいさつ～

※館報の配布時期によっては教室が終了している場合がありますが、ご了承ください。



①両手をパーにして、手のひらを相手側に向けて、顔の前で交差させます。日が暮れて暗くなり夜になるイメージです。
②はおはようと同じです。



①人差し指と中指を重ね、額の中央あたりにあてます。時計の長針・短針が重なる正午をイメージしています。
②はおはようと同じです。



①右手でこぶしを作り、こめかみのあたりにあててから、腕を下す。起床の様子をイメージしています。
②軽くおじぎをしながら、向かい合わせた人差し指を折り曲げます。

館裏と山形小学校に設置され、これまでは鳥の入口の形跡も多く確認されています。今回製作した新しい巣箱にも鳥が入ってくれ、うれしいですね！



1月27日(土)、トレーニングセンターにて、公民館講座おやじ塾と合同で野鳥観察を目的とした巣箱づくりを行いました。令和3年度にもおやじ塾と巣箱を製作しており、それらを2年間使用してきましたが、風雨によりいくつか壊れてしまったため再製作することになりました。
巣箱づくりは、板の切り出しから組み立てまで大人と子どもが協力して行います。慣れない工具の扱いに加えて、出入口や扉の位置を考えながら組み立てる作業がとても難しかったです。みなさん苦戦している様子でしたが、説明書とにらめっこしながら一生懸命に取り組み、個性豊かな7つの巣箱が完成しました。

例年、巣箱はふれあい児童館裏と山形小学校に設置され、これまでは鳥の入口の形跡も多く確認されています。今回製作した新しい巣箱にも鳥が入ってくれ、うれしいですね！

Yふるさとレンジャー隊 巣箱をつくろう！

- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 横水 | 古畑 | 中川 | 赤澤 | 鈴木 | 宮澤 | 緒方 | 田村 |
| 良喜 | 芳廣 | たき江 | 剣心 | 涼葉 | 濔叶 | 怜夢 | 柊怜 |
| 80歳 | 92歳 | 91歳 | 美悠 | 真雄 | 咲悠 | 成侑 | 智恭 |
| 下竹田 | 上大池 | 小坂 | 桜太 | 歩大 | 笑亮 | 美弥 | 湖一 |
| | 下大池 | | | 上大池 | 上大池 | 下竹田 | 下竹田 |



全国中学生人権作文コンテスト長野県大会入賞作品紹介

全国中学生人権作文コンテスト長野県大会（主催：長野県方法務局・長野県人権擁護委員連合会）は、次代を担う中学生が作文を書くことを通じて、人権尊重の重要性を理解し、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的としています。この度、鉢盛中学校に在学中で山形村出身の堀愛姫さん（3年生―上大池）と藤谷里凜さん（3年生―小坂）が県大会において上位入賞されました。館報やまがたでは前号に引き続きお二人の作文を紹介したいと思います。本号では、優秀賞を受賞された藤谷里凜さんの作文をご紹介します。

優秀賞 私とあなたの響界線

鉢盛中学校 3年 藤谷 里凜さん（小坂）



「なんで聴こえていないふりをするの？」
「耳が聴こえている人と何もかわらないよ。」
「謝る必要なんてないよ。誰も悪くないんだから。私こそ気がつかなくてごめんね。」
これらの言葉は私が学校生活を送っている中で実際にクラスメイトから言われた言葉だ。あなたはこれらの言葉を耳にしてどのようなことを思うだろう。

起こったのかわからないまま小学校に入学した。いつも通りの生活を送っていた私に「なんで聴こえていないふりをする？」という言葉が聴こえた。私にはこの言葉以外、なにも聴こえていなかった。気づかないうちに「無視」をしてしまっていたのだ。今までこんなことは一度もなかったのに。
無視をしてしまったことは申し訳なく、自分が自分自身を理解できていなかったことも悲しかった。しかし、その言葉のおかげで今ではその病氣と向き合うことができていくことに感謝したい。

自分のことをだんだん理解できるようになってから、授業中、先生の話を聞かずに雑談をしている友達の輪に入れるようになった。本当はいけないことだとわかっていても、実はやってみたかったこと。
友達から話しかけられた時、みんなより大きな声になつてしまったが、その時「耳が聴こえている人と何もかわらないよ。」「普通に話せるじゃん。」と言ってもらえて、みんなも私のことを理解してくれているのだとうれしく思えた。
また、私の左側に友達がいて話しかけられた時「ごめんね。左耳聴こえないから反対側にいってもいい？」と言うと「謝る必要なんてないよ。誰も悪くないんだから。私こそ気がつかなくてごめんね。」と優しい一言に涙が出そうになった。

特別扱いをするのではなく、自分のことのように思い接してくれる仲間がいる。「もしかしたらイジメられるかもしれない。」と不安だった私にとつて、とてもありがたい言動が多く安心して学校生活を送ることができた。
しかし、難聴を理解するにつれ、いくつかの悩みも生まれた。将来の仕事に制限が出る可能性があるということや今後の私生活についてである。今は両親や家族、先生や友人に助けてもらいながら生活できているが、いつか一人暮らしをしたり、職に就いて周りの目が厳しくなったりすることもあるかもしれない。イヤホンをつけて音楽を聴くことも難しいかもしれない。いろんな制限下での生活になつたとしても、もしかしたら自分と同じ思いをしている人がいるかもしれないと、私自身も周りに目を向け、上手に向き合っていけたらと思う。

私は「難聴」から学んだことがある。
世界には「自分」をもって生きていく人がたくさんいること。
目には見えない障害があること。
自分をオープンにすること。
言葉にしなければ伝わらないこと。
「難聴」という病気になるってなかったら、気づいていなかったかもしれないだろうことばかりだった。

送ることができた。
他人から見えないからこそ、自分から発して気づいてもらう。自分のことをみんなに知ってもらおう。単純なことかもしれないが、それはとても難しいことだった。
しかし、それができたことですごく楽になつた気がする。
初めて会う人に「私は左耳が聴こえません。」という一言はとても勇気がいることだった。しかし今では、その一言を当たり前前に自分のプロフィールにするくらい自然と言葉になる。
これから長い人生、自分を理解してもらえないことがあるかもしれない。しかし、私は私の左耳とともに楽しい日々を過ごしていきたい。

～館報やまがたへの情報提供募集中～
身近な情報・感想をお寄せください！

フォーム 下のQRコードを読み取ってください。

電話 山形村公民館
☎0263-98-3155

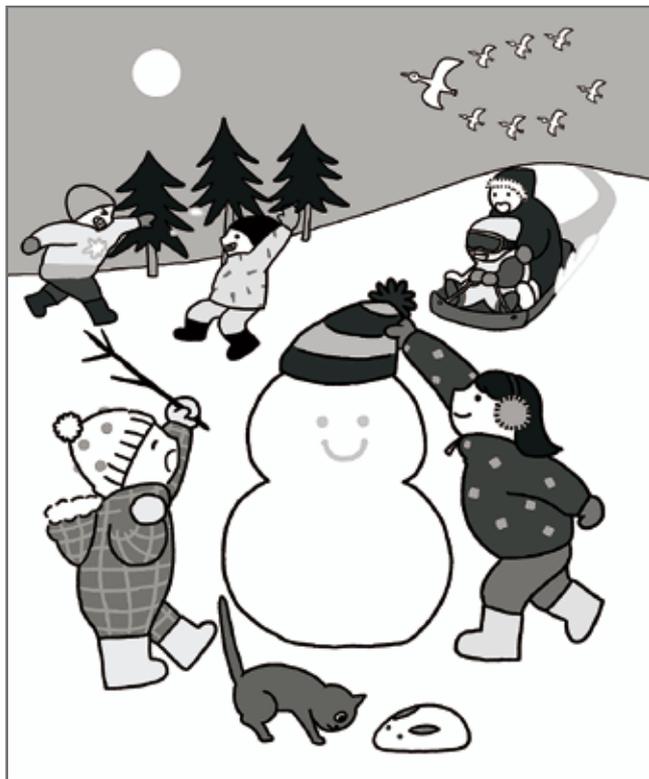
今年、山形村は開村150周年を迎えました。
 知っているようで意外と知らない私たちの山形村を、より深く、詳しく知っていただくために、編集部でクイズを作っています。まずは、頭の体操代わりに間違い探しをお楽しみください。
 この企画は、2～3ヶ月に1回行っています。これからもよろしくお祈いします。



Vol. 4

8つのちがい

下の左右のイラストの違い、見つけられるかな？



サイレン(通称：ポー)に関するアンケート調査へのご協力について(お礼)

館報 1月号と、山形村公式LINEでご案内したサイレンに関するアンケートですが、2月16日現在、201件もの回答をいただきました。

数多くの貴重なご意見ありがとうございました。

なお、アンケートは**2月29日(木)**まで受け付けていますので、まだ回答がお済みでない方は、ぜひ右のQRコードからご意見お寄せください。



山形村開村150周年記念 超マニアック三択クイズ！

問題 1

山形村は県内で何番目に小さい市町村でしょうか。

- ① 1番小さい
- ② 2番目に小さい
- ③ 3番目に小さい

問題 2

山形村における、森林面積の比率は以下のうち、どれが1番近いでしょう。(2021年時点)

- ① 約33%(森林が33%)
- ② 約50%
- ③ 約75%

問題 3

山形村の民有林において、最も材積(木材としての体積)が多い樹種は、以下の内どれでしょうか。

- ① アカマツ
- ② ヒノキ
- ③ カラマツ

